「新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための沿道飲食店等の路上利用に伴う道路占用の取扱いについて」の終了等について

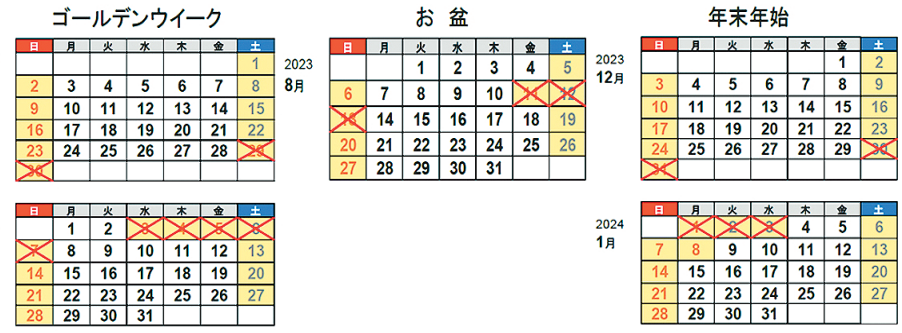
国土交通省では、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等を支援するための緊急措置としてテイクアウトやテラス営業などのための道路占用許可基準の緩和措置を行っている。その緩和措置の占用期間について、現下の状況を踏まえ、歩行者利便増進道路制度への移行中のものへの経過措置を除き、予定通り令和5年3月31日に終了することを発表した。

また、地方公共団体に対しても本取組を参考として歩行者利便増進道路制度への円滑な移行に向けた取組を行うよう要請している。

令和5年度における休日割引の適用除外日

NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本、本州四国連絡高速道路㈱および宮城県道路公社では、国土交通省からの依頼を受けて検討した結果、交通混雑期等における交通分散の観点などから、ゴールデンウイーク、お盆および年末年始は全国を対象として休日割引を適用しないこととしている（令和4年3月16日発表済み）。

令和5年度についても、休日割引が適用されないとしている。



ETCパーソナルカードの利用条件の見直し

NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本、首都高速道路㈱、阪神高速道路㈱、本州四国連絡高速道路㈱は、ETC普及促進の一環として、ETCパーソナルカードがより利用しやすくなるよう利用条件を見直すとしている。

具体的には、令和5年3月1日から、これまで20，000円がデポジットの最低額だったものを月あたりの利用額が2，500円以下の利用者向けに、デポジット額「3，000円」、「5，000円」、「10，000円」を新たに設けるとともに、デポジット額に対する利用限度額をこれまでの80%相当額から100%に変更するとしている。

現行

平均利用月額	デポジット額（※1）
設定なし	
5，000円	20，000円
10，000円	40，000円
15，000円	60，000円
20，000円（以降5，000円単位）	80，000円（以降20，000円単位）

⇒

令和5年3月～

平均利用月額	デポジット額（※1）
750円	3，000円（新設）
1，250円	5，000円（新設）
2，500円	10，000円（新設）
5，000円	20，000円
10，000円	40，000円
15，000円	60，000円
20，000円（以降5，000円単位）	80，000円（以降20，000円単位）

※1　デポジット額は、平均利用月額の4か月分での計算となる。

現行

利用限度額
デポジット額の80%相当額（例）40，000円の場合、利用限度額は32，000円まで

⇒

令和5年3月～

利用限度額
デポジット額の100%相当額（例）40，000円の場合、利用限度額は40，000円全額可

ETCパーソナルカードWebサービス　https://www.etc-pasoca.jp/

高速道路の深夜割引の見直し

～深夜走行分のみ割引対象にするとともに割引適用時間を拡大～

NEXCO東日本、NEXCO中日本およびNEXCO西日本では、国土交通省とともに深夜割引の見直しに関する検討を行った結果、割引適用時間帯の走行分のみ3割引とし、割引適用時間帯について現行の「0時から4時まで」を「22時から翌5時」へ拡大する方針である。これらについて、令和6年度中を目処に見直す予定であり、具体的な割引の見直し運用開始時期については、改めて発表するとしている。

【見直しの概要】

◇深夜割引適用時間帯に走行した分のみ3割引

◇深夜割引適用時間帯を22時から翌5時に拡大

◇深夜割引の見直しにあわせて、400㎞超の長距離逓減制を拡充

《割引見直し運用開始後の激変緩和措置（5年程度）》

○深夜割引適用車両のうち1，000㎞以上走行した場合は、1，000㎞を超える部分を割引対象走行分に追加

○22時台に高速道路を流出した車両について、22時台に走行した分は、深夜割引の割引率を2割とする

※今回の見直しに際して、深夜割引を「ETCマイレージサービス」または「ETCコーポレートカード」への後日還元型による割引制度に変更する。（長距離逓減制の拡充は除く）

※今回の見直しに際して、割引適用時間帯の走行分を把握するため、高速道路上へのETC無線通信専用アンテナの設置やシステム改修等を行う必要があり、現下の世界的な半導体不足の影響により、導入時期に影響を及ぼす場合がある。

0時から4時までの間に高速道路をETCにて通行する車両を対象に3割引を実施している。社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会 中間答申（令和3年8月4日付）（以下「中間答申」）において、深夜割引適用待ちの車両の滞留等の課題を踏まえ、割引が適用される時間帯の走行分の料金を対象として割り引くことや、トラック運転者の負担軽減等のため、割引適用時間帯の拡大について検討する必要があるとされたところである。

中間答申に基づき、NEXCO東日本、NEXCO中日本およびNEXCO西日本では、国土交通省とともに深夜割引の見直しに関する検討を行った結果、割引が適用される時間帯の走行分の料金を対象として割り引くことや、トラック運転者の負担軽減等のため、割引適用時間帯の拡大について検討する必要があるとされたところである。

中京圏初のETC専用料金所の運用開始

NEXCO中日本名古屋支社は、名古屋第二環状自動車道の有松IC（外回り）・鳴海IC（外回り）、東海環状自動車道の山県IC・大野神戸ICの4料金所を中京圏初のETC専用料金所として、令和5年4月18日（火）0時から運用を開始すると発表した。

【運用開始箇所】

▽名古屋第二環状自動車道／有松IC（外回り）

▽名古屋第二環状自動車道／鳴海IC（外回り）

▽東海環状自動車道／山県IC

▽東海環状自動車道／大野神戸IC

※有松IC（外回り）および鳴海IC（外回り）は、伊勢湾岸道方面への入口と同方面からの出口であるハーフインターチェンジ。

【運用開始日時】

令和5年4月18日（火）0時

【ETC専用料金所の案内】

ETC専用料金所の運用開始に合わせ、インターチェンジ付近の高速道路本線および一般道の案内標識に、ETC専用の標示板を設置し、ETC車で利用する必要があることを知らせる。

【ETC専用料金所の利用方法】

ETC車載器を搭載していない車両は利用できない。

ETCが使えない状態（ETC車載器未設置、ETCカード未挿入など）で誤ってETC専用料金所を利用した場合は後退せずに、『ETC／サポート』または『サポート』と表示されたレーンを通行し、一旦停止して係員などの指示に従って通行する。

詳細は　https://dc2.c-nexco.co.jp/etc/service/dedicated_etc.html

一般道における案内イメージ

高速道路本線における案内イメージ

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】

◇**東北中央自動車道**　霊山IC～伊達中央IC
2月20日(月)～2月28日(火)　各日20:30～翌6:00(土日祝日を除く)

◇**東北中央自動車道**　伊達中央IC～伊達桑折IC
3月1日(水)～3月24日(金)　各日20:30～翌6:00(土日祝日を除く)

◇**沖縄自動車道**　宜野座IC
2月27日(月)から3月4日(土)　各日20:00～翌6:00

【集中工事】

◇**名古屋第二環状自動車道**　上社南IC～名古屋西JCT
4月9日（日）2:00～4月27日（木）24:00
5月8日（月）2:00～5月27日（土）24:00

◇**東名阪自動車道**　名古屋西IC～伊勢関IC
5月8日（月）0:00～5月21日（日）6:00

【リニューアル工事】

◇**上信越自動車道**　松井田妙義IC～碓氷軽井沢IC(下り線)
2月27日(月)～12月22日(金)　終日(土日祝日、一部期間を除く)

道路と周年事業

2022年も、1月西湘バイパス全線開通50周年、4月新東名開通10周年、12月東京湾アクアライン開通25周年、米子自動車道全線開通30周年、首都高速道路開通60周年、など多くの道路で節目を迎えた。

周年事業とは企業や学校などの団体や組織の創業や設立、道路の開通などを基準にして、10年目、30年目などのキリの良い節目の時期に、これまで継続できたことを記念して行う事業である。

周年の数え方は、「満」「かぞえ」どちらなのか。気になって調べてみたところ、『数え方の辞典』（飯田朝子著2004年小学館）には、「しゅうねん【周年】」は、「ある年数から数えて、過ぎた年数を数えます。（中略）まる1年は「1周年」、1年に満たない場合は「1年目」といいます」とある。これによると、例えば「1周年記念イベント」は「丸1年が経過した2年目」に実施することが正しくなる。ただ、実際は主催する側の考え方で1年目に行っていたり、2年目に行っていたりしている。「満」で数えることが正しいが「かぞえ」であっても誤りとは言えないようである。

これまでの周年事業は社員や取引先、お客様への感謝の表明を目的とするところが多かったが、近年ではこれに加え、新たな広報のきっかけとしているところが多くなっている。

道路事業者の周年事業は、整備効果の公表、記念イベントやキャンペーンの実施、特設サイトの製作といった内容で行われることが多い。

道路は、多くの人にとって日常生活の中で空気のように「当たり前」の存在となっているが、開通からの歴史やこれまでの効果を振り返ることで、その価値を改めて知っていただく貴重な広報機会となっており、近年では様々な工夫がなされている。

例えば、中日本高速道路では2018年に東名高速開通50周年と『人生ゲーム』（ルーレットを回してマス目を進み、就職や結婚、出産、家の購入など人生のイベントを経ながら億万長者を目指すロングセラーのボードゲーム）日本発売50周年とコラボし、東名高速道路と新東名高速道路を舞台とした「50周年記念版人生ゲーム」を製作した。異業種とのコラボは思いもかけない相乗効果を生み出しただろう。

2023年には、首都高速道路のレインボーブリッジが開通30周年を迎える。他にも日本初のプロサッカーリーグであるJリーグ開始30周年、サン＝テグジュペリの小説『星の王子さま』出版80周年など、気にして見ると、様々な分野でアニバーサリーや節目を迎えるのに気が付くだろう。